

目次 （令和5年度実施計画書）

【施策の大綱4】安定したまちの基盤をつくります

ページ	大綱	分野	事業名	担当課
105	4	11-1	南上原土地区画整理事業	都市建設課
106	4	11-1	民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業	まちづくり推進課
107	4	11-2	役場庁舎等維持管理事業	総務課
108	4	11-2	中城村老人福祉センター解体工事事業	福祉課
109	4	11-3	舗装構成改良事業	都市建設課
110	4	11-3	村道奥間～南上原線整備事業	都市建設課
111	4	11-3	交通安全対策特別交付金	都市建設課
112	4	11-4	護佐丸バス運行事業	企画課
113	4	11-6	水道事業（第7次拡張）	上下水道課
114	4	11-6	公共下水道事業	上下水道課
115	4	11-6	効果促進事業（中城村公共下水道事業接続推進事業）	上下水道課
116	4	12-1	観光地周辺環境美化事業	都市建設課
117	4	12-2	吉の浦公園施設機能強化整備事業	生涯学習課

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 南上原地区区画整理事業													
令和4年度 事業費	270,064	千円	令和5年度 事業費	219,062	千円	対前年度 増減額	▲ 51,002	千円	総事業費 (令和5～7年度)	230,162	千円	事業区分	継続事業

事業概要 学園都市として琉球大学との調和のとれた街並を形成するとともに、中城村の新たな緑住スタイルを提案していく居住環境づくり、暮らしの情報発信の場としての地区形成を図る。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										都市建設課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	区画整理係
	分野	11-1 均衡の取れた土地利用の推進										担当名	呉屋克行
	その他関係施策	分野12-1, 12-3										内線番号	282
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	有				

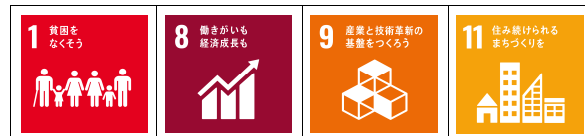
事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
<p>琉球大学の移転に伴い南上原地区周辺の地域環境が変わってきており、こうした変化に対応して、住宅地・商業地・公園・学校等のインフラ整備を行い、快適で住みよい住環境を構築し健全な市街地形成を図る必要がある。</p> <p>今後は、事業完了にむけて換地計画・換地処分に取り組んでいく。</p>	<p>区画整理事業を進めることで、整備された宅地の住宅建築の促進を図り、子育て環境の向上や公共施設の充実によって大幅な地域の発展に繋がる。</p>

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託費	189,491	換地処分業務委託費	事務費	8,800	事業事務費	事務費	2,300	事業事務費
事務費	29,571	事業事務費						
合計	219,062		合計	8,800		合計	2,300	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()	保留地処分金、基金	219,062	千円 100.0%	その他()	保留地処分金、基金	8,800	千円 100.0%	その他()	保留地処分金、基金	2,300	千円 100.0%
一般財源		千円		一般財源		千円		一般財源		千円	

令和5年度目標 (KPI等)	換地計画・事業計画の認可 土地・建物登記 換地処分公告 記念誌の作成	令和5年度 との相違点	換地処分後の諸整理 保留地の移転登記 清算金の徴収及び交付	令和6年度 との相違点	清算金の徴収及び交付
今後の展開	換地処分公告・本登記	目標	清算金業務の完了	目標	清算金業務の完了

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業													
令和4年度 事業費	713,870	千円	令和5年度 事業費	11,035	千円	対前年度 増減額	▲ 702,835	千円	総事業費 (令和5～7年度)	51,035	千円	事業区分	継続事業

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課		
地域課題や住民ニーズに即した商業施設を誘致することで、良好な住環境の確保、村内雇用の創出、村内農家の販路拡大、更に本村内にこれまでなかった交通結節点を整備し商業施設と連携させることで、交通弱者対策や多世代交流の促進など、魅力的で持続可能なまちづくりを推進する。			施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります						まちづくり推進課	
			基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します						担当係	まちづくり係
			分野	11-1 均衡の取れた土地利用の推進						担当名	田川・外間
			その他関係施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します						内線番号	227・228
			事業期間	令和	4	年	～	令和	13	年	積算資料

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
本村は、社会的・歴史的な特殊事情により計画的な土地利用ができなかったことにより、本村の国道沿いは住宅が張り付き、民間事業者の活力を活かした商業施設等が進出できない状況となっている。そのため、世界遺産・中城城跡への観光客や吉の浦公園でのスポーツキャンプ等への見学者等による村内消費が生まれず、交流人口の獲得もできない状況となっているほか、民間事業者の活力を活かしたにぎわいづくりの拠点がなくことによる村民同士の交流や地域活性化の取組みも実施できない状況である。					戦後の影響によって阻害されてきた土地利用を再編し、民間事業者の活力を活かした商業施設を誘致することにより、住民の利便性向上や観光消費の増加等、魅力的で持続可能なまちづくりに寄与する。				

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	11,035	地区計画策定業務	委託料	10,000	インフラ設計業務	委託料	10,000	交通アセスメント業務
						工事請負費	20,000	インフラ整備工事
合計	11,035		合計	10,000		合計	30,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	沖縄振興特別推進交付金	8,828	千円 80.0%	国庫補助金名	沖縄振興特別推進交付金	8,000	千円 80.0%	国庫補助金名	沖縄振興特別推進交付金	24,000	千円 80.0%
県補助金名			千円	県補助金名			千円	県補助金名			千円
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		2,207	千円 20.0%	一般財源		2,000	千円 20.0%	一般財源		6,000	千円 20.0%

令和5年度目標 (KPI等)	地区計画の策定完了	令和5年度との相違点	事業地周辺のインフラ改修に伴う設計完了	令和6年度との相違点	大型店舗出店に伴う周辺地域の交通アセスメントの実施
今後の展開	商業施設の誘致に向けた各種整備	目標	商業施設の誘致に向けた各種整備 ワークショップの開催	目標	交通アセスメントの完了 工区内の工事の完了

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 役場庁舎等維持管理事業													
令和4年度 事業費	51,713	千円	令和5年度 事業費	50,200	千円	対前年度 増減額	▲ 1,513	千円	総事業費 (令和5～7年度)	142,600	千円	事業区分	継続事業

事業概要 令和3年1月に開庁した役場新庁舎の適切な管理・運用を行うため、常駐警備や監視警備、清掃業務、エレベーター保守、環境衛生管理などの施設維持管理や、庁舎敷地及び公共駐車場の除草作業を行う。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										総務課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	情報管財係
	分野	11-2 公共施設の整備										担当名	平敷
	その他関係施策											内線番号	216
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
中城村役場へ来庁される村民の清潔な庁舎環境・安全確保、又、職員の業務遂行に係る快適な職場環境の確保のため、適切な維持管理を続けていく必要がある。 また、庁舎敷地及び公共駐車場における緑地帯の適切な管理の為の除草作業や、来庁者及び職員のニーズに合った施設改修等も検討する。	保守管理を実施することにより、管理面及び環境面において適切な庁舎環境の維持を図ることができる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
需要費	16,680	消耗品、修繕、光熱水費	需要費	16,680	消耗品、修繕、光熱水費	需要費	16,680	消耗品、修繕、光熱水費
役務費	7,306	通信運搬、保険	役務費	7,306	通信運搬、保険	役務費	7,306	通信運搬、保険
委託料	19,031	警備、清掃、保守	委託料	19,031	警備、清掃、保守	委託料	19,031	警備、清掃、保守
使用料	2,970	借地料、リース	使用料	2,970	借地料、リース	使用料	2,970	借地料、リース
備品購入費	4,000	車両購入	公課費	213	自動車重量税	公課費	213	自動車重量税
公課費	213	自動車重量税						
合計	50,200		合計	46,200		合計	46,200	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	千円			国庫補助金名	千円			国庫補助金名	千円		
国庫補助金名				国庫補助金名				国庫補助金名			
県補助金名				県補助金名				県補助金名			
地方債				地方債				地方債			
その他()				その他()				その他()			
一般財源	50,200	千円	100.0%	一般財源	46,200	千円	100.0%	一般財源	46,200	千円	100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	施設の適切な管理を行う。 ・役場庁舎（敷地面積：7,432.78㎡、延床面積：5,597.86㎡） ・公共駐車場（6,963.23㎡）	令和5年度との相違点	効率的な管理方法を検討する。	令和6年度との相違点	効率的な管理方法を検討する。
今後の展開	来庁者及び職員のニーズに応じた施設改修や備品の整備	目標	施設の衛生的な管理及び長寿命化を図る。	目標	施設の衛生的な管理及び長寿命化を図る。

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	中城村老人福祉センター解体工事業									
-----	------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	15,554	千円	令和5年度 事業費	64,020	千円	対前年度 増減額	48,466	千円	総事業費 (令和5～7年度)	64,020	千円	事業区分	新規事業（緊急）
--------------	--------	----	--------------	--------	----	-------------	--------	----	-------------------	--------	----	------	----------

事業概要 中城村老人福祉センターの老朽化に伴い当施設の解体工事を行う。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										福祉課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	介護福祉係
	分野	11-2 公共施設の整備										担当名	照屋郁子
	その他関係施策											内線番号	155
事業期間	令和	5	年	～	令和	5	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月より、社会福祉協議会事務局及び各種団体事務所機能は吉の浦会館へ移転したが、書類・備品関係は現在も老人福祉センターで保管しているため、早急に代替施設もしくは保管場所の検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ活動の拠点整備、社協を含む各種団体の活動拠点の整備が図れる。 各種保管場所やB型事業所きりりの一時的な移転場所の確保を行うことで、老人福祉センターの令和5年度内の解体完了が見込める。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事請負費	64,020	解体工事						
合計	64,020		合計	0		合計	0	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名			千円	国庫補助金名			千円	国庫補助金名			千円
県補助金名			千円	県補助金名			千円	県補助金名			千円
地方債	公共施設除却債	57,618	千円 90.0%	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		6,402	千円 10.0%	一般財源			千円	一般財源			千円

令和5年度目標 (KPI等)	老人福祉センターの解体・返還用地の整地 移転先の検討	令和5年度 との相違点		令和6年度 との相違点	
今後の展開	老人福祉センターの解体・返還用地の整地	目標		目標	

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名		舗装構成改良事業									
-----	--	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	94,609	千円	令和5年度 事業費	203,000	千円	対前年度 増減額	108,391	千円	総事業費 (令和5～7年度)	671,217	千円	事業区分	継続事業
--------------	--------	----	--------------	---------	----	-------------	---------	----	-------------------	---------	----	------	------

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課				
日本道路公団が沖縄自動車道の建設に伴い施行した代替道路を昭和63年に村が移管を受けた村道をはじめ、村内には車道としての舗装厚が不足している村道があり、路面のひび割れや沈下が起こり通行に支障が出ている。舗装構成の変更を行い、通行車両の安全性を図ることを目的とする。対象路線は14路線。			施策の大綱		4. 安定したまちの基盤をつくります				都市建設課				
			基本施策		①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します				担当係	都市建設係			
			分野		11-3 道路整備の推進				担当名	金城 穰			
			その他関係施策						内線番号	281			
事業期間			令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	有		

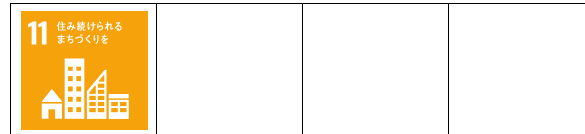
事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
日本道路公団から移管を受けた村道をはじめ、舗装厚が不足している村道があり、その路線は全面的に路面のひび割れや沈下が起り、車両を傷つけた等の苦情も毎年でている。補修を行っても、すぐに損傷するため、維持管理での対応ではなく舗装構成の変更を行い、舗装厚の不足を解消する対策を行う必要がある。対象路線は14路線。					舗装構成の変更を行い、舗装厚の不足を解消することで通行車両の安全性を確保できる。				

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託費	50,000	測量設計	委託費	50,000	測量設計	工事費	233,761	6路線
工事費	153,000	3路線	工事費	184,456	5路線			
合計	203,000		合計	234,456		合計	233,761	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	162,400	千円 80.0%	国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	187,564	千円 80.0%	国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	187,008	千円 80.0%
県補助金名			千円	県補助金名			千円	県補助金名			千円
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		40,600	千円 20.0%	一般財源		46,892	千円 20.0%	一般財源		46,753	千円 20.0%

令和5年度目標 (KPI等)	令和5年度は、6路線の調査測量設計及び3路線分の舗装構成改良工事を実施する。	令和5年度との相違点	令和6年度は、残り5路線の調査測量設計及び5路線分の舗装構成改良工事を実施する。	令和6年度との相違点	令和7年度は、6路線分の舗装構成改良工事を実施する。
今後の展開	残り5路線の測量設計及び残り11路線の舗装構成改良工事を実施する。	目標	残り5路線の測量設計及び5路線の舗装構成改良工事を実施する。	目標	6路線分の舗装構成改良工事を実施する。

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 村道奥間～南上原線整備事業									
-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	94,609 千円	令和5年度 事業費	34,850 千円	対前年度 増減額	▲ 59,759 千円	総事業費 (令和5～7年度)	127,850 千円	事業区分	継続事業
--------------	-----------	--------------	-----------	-------------	-------------	-------------------	------------	------	------

事業概要 村道奥間～南上原線の国道329号との交差点において道路拡幅を行い右折帯を整備することにより、朝夕慢性化している村道の渋滞を緩和する。	第五次総合計画での位置付け						担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります				都市建設課			
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します				担当係	都市建設係		
	分野	11-3 道路整備の推進				担当名	金城 穰		
	その他関係施策					内線番号	281		
事業期間	令和	5	年	～	令和	6	年	積算資料	有

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
村道奥間～南上原線は、東西を結ぶ主要道路であるが、区画整理を行っている南上原地区の急激な人口増加により、本線を利用して、国道329号へと抜ける車両の交通量が多く、片側1車線の道路であるため、常に渋滞を引き起こしている。そのため、国道329号との交差点に右折帯を整備することで渋滞を緩和し、道路の利便性を高める。	南部国道事務所による奥間交差点の拡幅改良整備が行われており、本村道の改良の実施によりさらなる交通利便性の向上が期待される。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
用地費	15,000	7筆	工事費	58,000				
補償費	19,850	6件	用地費	10,000	5筆			
			補償費	25,000	1件			
合計	34,850		合計	93,000		合計	0	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	沖縄振興公共投資交付金	27,880 千円	80.0%	国庫補助金名	沖縄振興公共投資交付金	74,400 千円	80.0%	国庫補助金名			千円
県補助金名				県補助金名				県補助金名			千円
地方債				地方債				地方債			千円
その他()				その他()				その他()			千円
一般財源		6,970 千円	20.0%	一般財源		18,600 千円	20.0%	一般財源			千円

令和5年度目標 (KPI等)	用地及び補償の交渉を進める。	令和5年度との相違点	用地及び補償の交渉を進める。整備工事を推進する	令和6年度との相違点	
今後の展開	用地7筆、補償6件の契約	目標	用地5筆、補償1件の契約整備工事の完了	目標	

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	交通安全対策特別交付金				
-----	-------------	--	--	--	--

令和4年度 事業費	2,000	千円	令和5年度 事業費	2,000	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和5～7年度)	6,000	千円	事業区分	継続事業
--------------	-------	----	--------------	-------	----	-------------	---	----	-------------------	-------	----	------	------

事業概要 交通安全対策特別交付金は、昭和43年に道路交通法の改正により創設された交通反則通告制度に基づき納付される反則金収入を原資として、交通安全施設（道路反射鏡、防犯灯、防護柵、外側線等）を整備し交通安全上の危険箇所や利便性の向上、交通事故の発生を防止することを目的とする。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										都市建設課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	都市建設係
	分野	11-3 道路整備の推進										担当名	狩俣 誠
	その他関係施策											内線番号	281
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
交通事故の発生を防止することを目的として、村内の危険箇所に交通安全施設（道路反射鏡、防犯灯、防護柵、外側線等）を設置する。設置箇所は、自治会からの要望及び民生員の意見を取り入れ決定する。自治会からの要望が多く、危険と思われる場所を選定し設置順位を決定しているが、毎年の交付金額での新設設置ができない状況である。又、施設も老朽化している為、台風等や大型車両等での破損が多く維持管理上の予算確保が難しい状況である。					交通安全施設（道路反射鏡、防犯灯、防護柵、外側線等）を設置することで、交通安全上の危険性が除去され、地域住民の生活利便性の向上及び安心、安全な街づくりに繋がる。				

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事請負費	2,000	白線設置	工事請負費	2,000	白線設置	工事請負費	2,000	白線設置
合計	2,000		合計	2,000		合計	2,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	交通安全対策特別交付金	1,800	千円 90.0%	国庫補助金名	交通安全対策特別交付金	1,800	千円 90.0%	国庫補助金名	交通安全対策特別交付金	1,800	千円 90.0%
県補助金名			千円	県補助金名			千円	県補助金名			千円
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		200	千円 10.0%	一般財源		200	千円 10.0%	一般財源		200	千円 10.0%

令和5年度目標 (KPI等)	各種要望をベースに、現場確認の上、必要度の高い所を選定し、効果的に対策する。	令和5年度との相違点	前年度未整備分及び、新規要望の中から、優先度の高いところを、予算の範囲内で整備する。	令和6年度との相違点	前年度未整備分及び、新規要望の中から、優先度の高いところを、予算の範囲内で整備する。
今後の展開	維持管理による修繕と、有効的な対応ができるよう検討する。	目標	維持管理による修繕と、有効的な対応ができるよう検討する。	目標	維持管理による修繕と、有効的な対応ができるよう検討する。

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	護佐丸バス運行事業									
-----	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	22,995	千円	令和5年度 事業費	23,156	千円	対前年度 増減額	161	千円	総事業費 (令和5～7年度)	69,468	千円	事業区分	継続事業
--------------	--------	----	--------------	--------	----	-------------	-----	----	-------------------	--------	----	------	------

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課				
地形的に分断されている平坦部（下地区）と台地部（上地区）との東西の往来ができる公共交通及び空白地帯への日常生活の足の確保など、交通弱者の生活環境を改善するため、村内コミュニティバスを運行させる。			施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります						企画課			
			基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します						担当係	企画調整係		
			分野	11-4 公共交通の拡充						担当名	比嘉秀哉		
			その他関係施策							内線番号	221		
事業期間			令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	有		

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
中城村は公共交通網が脆弱であり、住民の移動手段は主に国道329号を運行している路線バスのみであり、上地区と下地区を結ぶ公共交通が存在しないことから、買い物等における日常生活に支障をきたしている状況である。更に、近隣市町村にある高校へ通学するための公共交通の確保が必要であることや、高齢者等の交通弱者に対する支援が求められている。					住民生活で自家用車が一般化している中でも、高齢者・障がい者や児童・生徒など、交通弱者へ移動手段を確保することにより、自立した日常生活及び社会生活を営むことができる。				

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
需用費	2,600	バス券印刷・修繕等	需用費	2,600	バス券印刷・修繕等	需用費	2,600	バス券印刷・修繕等
役務費	81	車検手数料・保険料	役務費	81	車検手数料・保険料	役務費	81	車検手数料・保険料
委託料	20,218	バス運行委託	委託料	20,218	バス運行委託	委託料	20,218	バス運行委託
委託料	200	バス回数券販売委託	委託料	200	バス回数券販売委託	委託料	200	バス回数券販売委託
公課費	57	重量税	公課費	57	重量税	公課費	57	重量税
合計	23,156		合計	23,156		合計	23,156	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()	運賃収入	5,000	千円 21.6%	その他()	運賃収入	5,000	千円 21.6%	その他()	運賃収入	5,000	千円 21.6%
一般財源		18,156	千円 78.4%	一般財源		18,156	千円 78.4%	一般財源		18,156	千円 78.4%

令和5年度目標 (KPI等)	護佐丸バス利用者の増加 利用者数35,000人 (令和3年度実績32,636人)	令和5年度 との相違点	バス停位置やルート見直し等の検討	令和6年度 との相違点	バス停位置やルート見直し等の検討
今後の展開	運行ルート等の見直し検討	目標	利用者の増加	目標	利用者の増加

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	水道事業（第7次拡張）									
-----	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	67,000	千円	令和5年度 事業費	120,000	千円	対前年度 増減額	53,000	千円	総事業費 (令和5~7年度)	356,000	千円	事業区分	継続事業
--------------	--------	----	--------------	---------	----	-------------	--------	----	-------------------	---------	----	------	------

事業概要 給水区域内における給水人口及び給水量の増加に対応するため、水道施設を整備し、住民への安定した給水を目的とする。 令和5年度については南上原ポンプ場機械・設備の改修工事を実施する。	事業概要		第五次総合計画での位置付け							担当課			
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります							上下水道課				
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します							担当係	施設係			
	分野	11-6 上下水道の充実							担当名	安里亘			
	その他関係施策								内線番号	242			
事業期間			令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	有		

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
生活用水の需要増や地域開発の動向に対応するため、老朽化した水道施設の更新を行い、水の安定供給を図るため年次的に施設整備を行っていく必要がある。 特に南上原地区においては、人口の急増に伴い水需要も増大していることから、施設の老朽化も含め配水池建替及びポンプ場改修については、急務である。					令和5年度については、南上原ポンプ場の機械・設備改修により、現状の水需要に対して適切に供給できる体制を構築し、今後の水需要の増大や災害等危機管理対策も同時に実施することができる。				

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事費	120,000	南上原ポンプ施設の更新	工事費	134,500	水道管布設替工事	工事費	92,000	水道管布設替工事
			委託費	5,500	配水管測量測量設計	委託費	4,000	配水管測量測量設計
合計	120,000		合計	140,000		合計	96,000	

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	沖縄簡易水道等施設整備費	60,000	千円	50.0%	国庫補助金名	沖縄簡易水道等施設整備費	70,000	千円	50.0%	国庫補助金名	沖縄簡易水道等施設整備費	48,000	千円	50.0%
県補助金名			千円		県補助金名			千円		県補助金名			千円	
地方債			千円		地方債			千円		地方債			千円	
その他()		60,000	千円	50.0%	その他()		70,000	千円	50.0%	その他()		48,000	千円	50.0%
一般財源			千円		一般財源			千円		一般財源			千円	

令和5年度目標 (KPI等)	配水管整備により水道の安定給水を図る。 整備箇所 (南上原ポンプ場機械・設備の更新)	令和5年度 との相違点	施工箇所(宇慶、津覇、南上原、安里)と工事内容(配水管改修等)	令和6年度 との相違点	施工箇所(奥間、安里、当間)と工事内容(配水管改修等)
今後の展開	ポンプ場 更新	目標	配水管 L=2,400m	目標	配水管 L=1,700m

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 公共下水道事業									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	274,048	千円	令和5年度 事業費	373,916	千円	対前年度 増減額	99,868	千円	総事業費 (令和5～7年度)	1,039,250	千円	事業区分	継続事業
--------------	---------	----	--------------	---------	----	-------------	--------	----	-------------------	-----------	----	------	------

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課		
中城村公共下水道事業は、中城湾南部流域関連公共下水道事業として、平成8年度に着手し平成14年度に一部供用開始をしました。事業の実施については、人口密集区域を優先し、事業の進捗に合わせて5～7年を目安に計画を拡大・見直ししながら整備を進めています。			施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります						上下水道課	
			基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します						担当係	下水道係
			分野	11-6 上下水道の充実						担当名	下地良和
			その他関係施策							内線番号	244
			事業期間	令和	2	年	～	令和	6	年	積算資料

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全に資することを目的として事業を実施する必要があります。 課題としては、村内の下水道整備率が55.9%と低いことから、令和4年度から令和8年度まで新規交付金事業（地方創生整備推進交付金）を活用して、より一層の下水道整備推進を図ります。					下水道整備の実施により、令和3年度末の下水道整備率55.3%となり公衆衛生の向上、公共用水の水質保全が期待できる。				

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事費	243,016	污水管工事	工事費	263,167	污水管工事	工事費	287,167	污水管工事
委託費	130,900	詳細設計・施工管理	委託費	72,500	詳細設計・施工管理	委託費	42,500	詳細設計・施工管理
合計	373,916		合計	335,667		合計	329,667	

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	地方創生污水処理施設整備推進交付金	120,000	千円	32.1%	国庫補助金名	地方創生污水処理施設整備推進交付金	127,000	千円	37.8%	国庫補助金名	地方創生污水処理施設整備推進交付金	124,000	千円	37.6%
県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	80,350	千円	21.5%	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	49,000	千円	14.6%	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	49,000	千円	14.9%
地方債	財政融資資金貸付金	173,500	千円	46.4%	地方債	財政融資資金貸付金	159,500	千円	47.5%	地方債	財政融資資金貸付金	156,500	千円	47.5%
その他()			千円		その他()		千円			その他()		千円		
一般財源		66	千円	0.0%	一般財源		167	千円	0.0%	一般財源		167	千円	0.1%

令和5年度目標 (KPI等)	南上原地区の下水道整備の推進を図り、整備率を57%まで引き上げます。	令和5年度との相違点	南上原地区の下水道整備のほか、添石・伊舎堂地区の下水道整備に向け幹線整備に着手します。	令和6年度との相違点	南上原地区の下水道整備を完了し、添石地区の下水道整備に着手します。
今後の展開	人口密集地である南上原地区の下水道整備完了を努めます。	目標	南上原地区整備率90% 幹線整備L=380m	目標	南上原地区整備率100%

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 効果促進事業（中城村公共下水道事業接続推進事業）

令和4年度 事業費	4,000 千円	令和5年度 事業費	3,000 千円	対前年度 増減額	▲ 1,000 千円	総事業費 (令和5～7年度)	11,000 千円	事業区分	継続事業
--------------	----------	--------------	----------	-------------	------------	-------------------	-----------	------	------

事業概要 下水道接続の普及推進事業として、下水道接続工事費の補助（合併浄化槽からの接続5万円、単独浄化槽及び汲み取りからの接続10万円）を実施し、住民の負担軽減を図ることにより多くの住民に下水道接続を促します。	第五次総合計画での位置付け							担当課	
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります					上下水道課		
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します					担当係	下水道係	
	分野	11-6 上下水道の充実					担当名	下地良和	
	その他関係施策						内線番号	244	
事業期間	令和	2	年	～	令和	6	年	積算資料	有

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
令和3年度末の下水道接続率は66.6%となっており、県内の自治体と比較しても低水準となっています。また、下地区の下水道接続率が低くなる傾向があるため、広報活動や補助制度の周知を強化する必要があります。	効果促進事業をおこなう以前の平成24年度末で30.1%であった下水道接続率は、令和3年度末時点で66.6%（前年度比+6.7%）まで上昇し、9年間で36.5%増加しました。年度目標値も毎年達成し接続率は順調に増加しており、公共用水域の水質保全に寄与しています。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
負担金補助及び交付金	3,000	污水管工事	負担金補助及び交付金	4,000	污水管工事	負担金補助及び交付金	4,000	污水管工事
合計	3,000		合計	4,000		合計	4,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名	沖縄振興公共投資交付金	1,000 千円	25.0%	国庫補助金名	沖縄振興公共投資交付金	1,000 千円	25.0%
県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	1,000 千円	33.3%	県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源		2,000 千円	66.7%	一般財源		3,000 千円	75.0%	一般財源		3,000 千円	75.0%

令和5年度目標 (KPI等)	下水道接続補助の広報・啓蒙活動を推進し、下水道接続率を69%まで引き上げます。	令和5年度との相違点	接続率の低い地域や人口密集地を中心に広報・啓蒙活動を実施します。	令和6年度との相違点	接続率の低い地域や人口密集地を中心に広報・啓蒙活動を実施します。
今後の展開	接続率の低い地域や人口密集地を中心に広報・啓蒙活動を実施します。	目標	下水道接続率を71%以上	目標	下水道接続率を74%以上

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 観光地周辺環境美化事業													
令和4年度 事業費	16,328	千円	令和5年度 事業費	18,193	千円	対前年度 増減額	1,865	千円	総事業費 (令和5~7年度)	54,579	千円	事業区分	継続事業

事業概要 観光地及び観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行い、観光客の満足度向上を図る。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										都市建設課	
	基本施策	⑫暮らしやすい住環境と美しい景観を創出します										担当係	都市建設係
	分野	12-1 住環境の向上										担当名	狩俣 誠
	その他関係施策	分野12-2										内線番号	281
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
中城村には、歴史的観点や観光資源としても活用されている『歴史の道』や『南上原系蒲公園』等があり、そのような場所を安全・安心に歩行できるよう環境美化を行い観光振興を図る。また、本村ではスポーツコンベンションの推進による地域活性化や観光振興の魅力発信を図るため、プロサッカーチームのキャンプ誘致活動を行っており、観光客が気持ち良く村内を回遊できるよう観光地へのアクセス道路の環境美化を行う。					県営中城公園の、旧ホテル跡地が解体され、今後は、城跡の正門側の整備も進むことが想定される中、現在の護佐丸ウオーキング以外にも歴史の道を使った、観光イベント等への利活用が見込まれる歴史の道や、各種イベントで利用される中城村吉の浦公園周辺道路を美化することにより、中城村の観光振興に寄与する。				

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	17,973	会計年度任用職員	報酬	17,973	会計年度任用職員	報酬	17,973	会計年度任用職員
需用費	220	草刈り機替え刃等	需用費	220	草刈り機替え刃等	需用費	220	草刈り機替え刃等
合計	18,193		合計	18,193		合計	18,193	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	千円	千円	千円	国庫補助金名	千円	千円	千円	国庫補助金名	千円	千円	千円
県補助金名	沖繩振興特別推進交付金	14,554	80.0%	県補助金名	沖繩振興特別推進交付金	14,554	80.0%	県補助金名	沖繩振興特別推進交付金	14,554	80.0%
地方債				地方債				地方債			
その他()				その他()				その他()			
一般財源		3,639	20.0%	一般財源		3,639	20.0%	一般財源		3,639	20.0%

令和5年度目標 (KPI等)	夏季の雑草繁忙期においても、美化された状態を保つ。作業が間に合わない箇所について、自治会への委託が可能か検討する。	令和5年度との相違点	美化作業について、自治会への委託可能な個所の選定を行う。	令和6年度との相違点	美化作業について、自治会への委託可能な個所の選定を行う。
今後の展開	特に、夏季の雑草繁忙期においても、美化された状態を保つ。	目標	特に、夏季の雑草繁忙期においても、美化された状態を保つ。	目標	特に、夏季の雑草繁忙期においても、美化された状態を保つ。

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	吉の浦公園施設機能強化整備事業				
-----	-----------------	--	--	--	--

令和4年度 事業費	45,736 千円	令和5年度 事業費	63,577 千円	対前年度 増減額	17,841 千円	総事業費 (令和5～7年度)	148,684 千円	事業区分	継続事業
--------------	-----------	--------------	-----------	-------------	-----------	-------------------	------------	------	------

事業概要		第五次総合計画での位置付け				担当課			
プロサッカーチームのキャンプを今後も継続して受け入れるため、専門技術者による適正な芝の管理を行い環境を整えとともに、更なるキャンプ誘致や地域活性化につなげる。また、各種スポーツ合宿や大会等が開催されるスポーツコンベンションとしての拠点施設としての機能強化を図るため、吉の浦公園の整備計画に基づいた計画的な施設全体の整備を行っていく。		施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります			生涯学習課			
		基本施策	⑫暮らしやすい住環境と美しい景観を創出します			担当係	体育振興係		
		分野	12-2 公園緑地の管理			担当名	棚原		
		その他関係施策				内線番号	711		
		事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年

事業を実施する必要性と現状の課題		事業実施効果	
サッカー場の芝を適正に管理することで、県内屈指の質の高い芝環境を維持している。そのため、プロサッカーチームが継続してキャンプ地として利用し、且つ定着しつつある。今後も継続した受け入れをしていくうえで、適正な管理の継続は必須である。また、吉の浦公園各施設は老朽化が進行している。本村のスポーツコンベンションの拠点として、各施設が機能するように整備を進めていく必要がある。		計画的に施設の整備を行い、効率的に各施設の機能強化を推進することで、キャンプ地としての魅力が増し、各種スポーツの大会などの開催や村内各団体のスポーツ活動の活性化、村民の健康増進といった生涯スポーツの拡充を図ることができる。	

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託費①	11,000	芝管理委託料	委託費①	11,000	芝管理委託料	委託費①	11,000	芝管理委託費
委託費③	5,000	東屋改修設計	委託費②	11,180	基本計画見直	工事費①	25,000	園内看板整備工事
工事費①	40,000	東屋改修工事	工事費②	11,773	防犯カメラ新設工事	人件費①	3,317	技術嘱託員
人件費①	3,317	技術嘱託員	人件費①	3,317	技術嘱託員	人件費②	4,260	公園清掃整備員
人件費②	4,260	公園清掃整備員	人件費②	4,260	公園清掃整備員			
合計	63,577		合計	41,530		合計	43,577	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	50,862	80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	33,224	80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	34,862	80.0%
地方債				地方債				地方債			
その他()				その他()				その他()			
一般財源		12,715	20.0%	一般財源		8,306	20.0%	一般財源		8,715	20.0%

令和5年度目標 (KPI等)	整備計画を進め、吉の浦公園がより快適に利用できるようになることで、村民の健康増進を推進する。	令和5年度との相違点	基本計画見直しを実施し、現在の住民生活の需要に沿った計画策定を行う。防犯カメラの新設を実施し安全管理を行う。	令和6年度との相違点	見直した基本計画に則り、事業を実施していく。公園をより快適に利用できるように園内の看板及び標識の整備を実施する。
今後の展開	基本計画に基づき、施設の整備を推進する。	目標	<ul style="list-style-type: none"> 芝の適正な管理の実施 基本計画の見直し 防犯カメラの設置 	目標	<ul style="list-style-type: none"> 芝管理委託の実施 公園内看板の整備